



証券コード:2269

個人投資家様向け会社説明会

明治グループの成長戦略

2021年1月

明治ホールディングス株式会社

1. 基本情報

2. 明治グループの強み

3. 明治グループ2026ビジョン

4. 2020年度業績

5. 株主還元

1. 基本情報

2. 明治グループの強み

3. 明治グループ2026ビジョン

4. 2020年度業績

5. 株主還元

| | | |
|---------|----------------|-----|
| 商号 | 明治ホールディングス株式会社 | |
| 設立 | 2009年4月1日 | |
| 資本金 | 300億円 | |
| 本社所在地 | 東京都中央区京橋2-4-16 | |
| 従業員 | 17,571人(連結) | |
| グループ会社数 | 子会社 | 76社 |
| | 関連会社 | 10社 |



代表取締役社長CEO
川村和夫

※従業員、グループ会社数は2020年3月31日現在

菓子

1926
「ミルクチョコレート」発売



1975
「きのこの山」発売



1980
プロテイン「ザバス」発売

1998
「チョコレート効果」発売



2015
「ザバスミルク」
発売



医薬品

1916
明治製菓の前身
「東京菓子」設立

1946
ペニシリンの製造開始



1994
抗生物質「メイアクト」発売



2009
共同持株会社
「明治ホールディングス」設立

統合 再編

食品セグメント

医薬品セグメント

1996
「インフルエンザ
HAワクチン」発売



2009
抗うつ薬
「リフレックス」
発売



2011
医薬品事業会社
「Meiji Seika ファルマ」発足

乳業

1928
「明治牛乳」発売



1973
「明治ブルガリア
ヨーグルト」発売



1994
「明治エッセル
スーパーカップ」発売



2000
「明治プロビオ
ヨーグルトLG21」発売



2009
「明治ヨーグルトR-1」発売



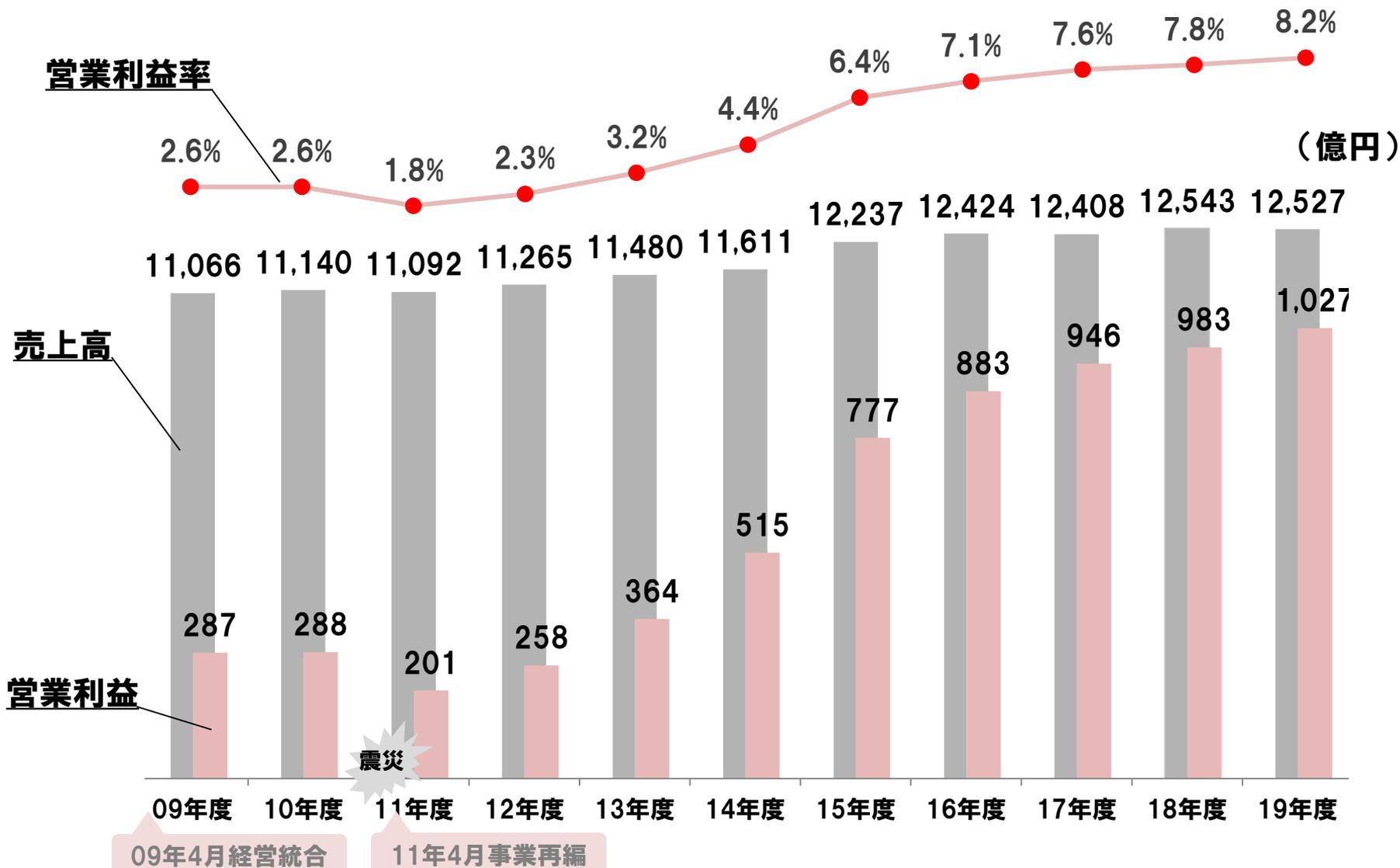
2018
「KMバイオロジクス」
グループ会社化

私たちの使命は、「おいしさ・楽しさ」の世界を広げ、
「健康・安心」への期待に応えてゆくこと。

私たちの願いは、「お客さまの気持ち」に寄り添い、
日々の「生活充実」に貢献すること。

私たち明治グループは、「食と健康」のプロフェッショナルとして、
常に一步先を行く価値を創り続けます。

明治グループの業績推移



株価推移(2011.4.1~2020.12.30)

(円)



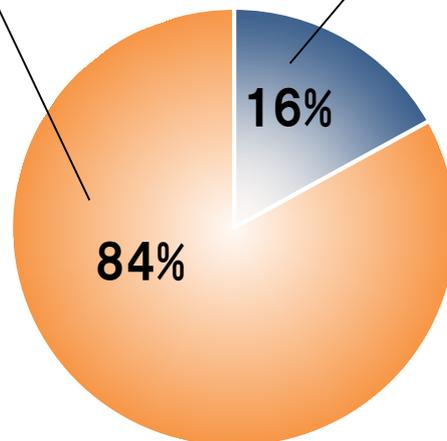
(出典) Bloomberg

食品

医薬品

売上高構成比※

全体



発酵デイリー



31%

加工食品



17%

菓子

12%

栄養

9%

海外

5%

(中国・米国・アジア)

その他

26%

国内子会社



国内



先発品



ジェネリック



農薬

動物薬

海外

21%



KM

バイオロジクス

17%



1. 基本情報

2. 明治グループの強み

3. 明治グループ2026ビジョン

4. 2020年度業績

5. 株主還元

新しい価値を創造し、お客さまのもとにお届けするまで、
確かな品質に基づくバリューチェーンを構築

新たな
「価値創造」により
「社会課題解決」へ貢献

強固なバリューチェーンで市場を創出

研究
開発

調達

生産
物流

販売
コミュニケーション

豊かな素材と
優れた研究開発力

優れたコミュニケーション力と
強い営業力

安全・安心な品質

あらゆる世代に
向けた多様な
商品群



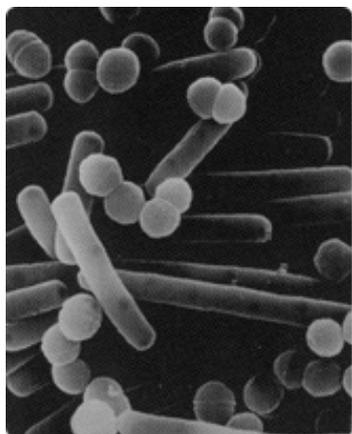
乳酸菌の機能性研究を基盤とし、付加価値の高い商品を開発

乳酸菌ライブラリー

約**5,500**種類

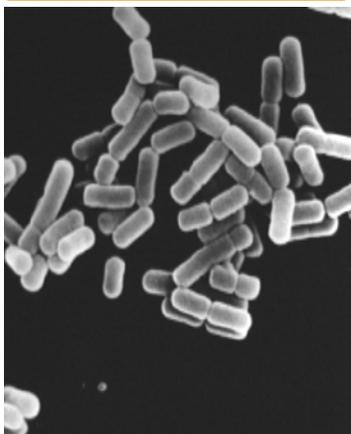
LB81
lactobacillus

Healthy
digestion



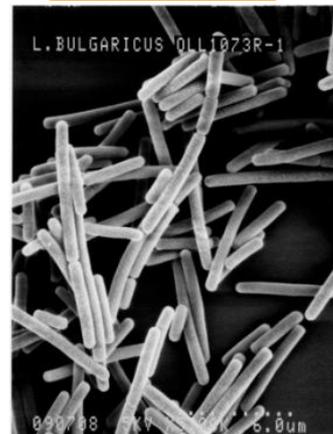
Lactobacillus gasseri OLL2716

Helicobacter pylori &
Functional Dyspepsia



Lactobacillus delbrueckii ssp. Bulgaricus OLL1073R-1

Natural Killer
Activity



Lactobacillus gasseri OLL2959

Purine



医薬品

- グローバルでサプライチェーンを確立し、
低コスト生産を実現

- PTメイジ 1974年設立
- タイ・メイジ 1979年設立
- メドライク 2014年買収(1976年設立)



食品

- 常温・チルド・フローズンと全ての温度帯の商品を
タイムリーに生産・供給する体制を確立

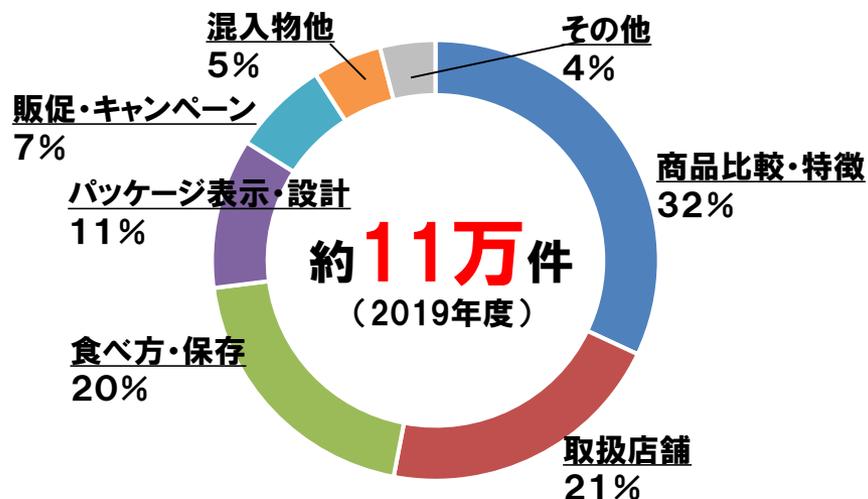
- 国内工場 26
- 国内生産系子会社 13



宣伝や店頭での営業活動により商品価値をお客様に適切に伝え、寄せられた声を
利便性の向上や価値創造に生かす双方向のコミュニケーションを実践

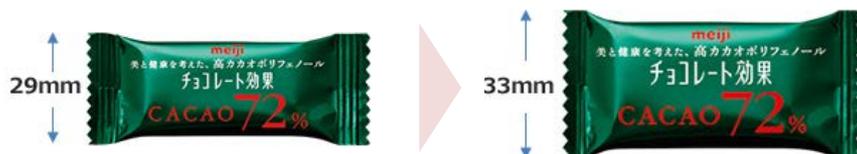
食品

お客様相談センターお問合せ内容



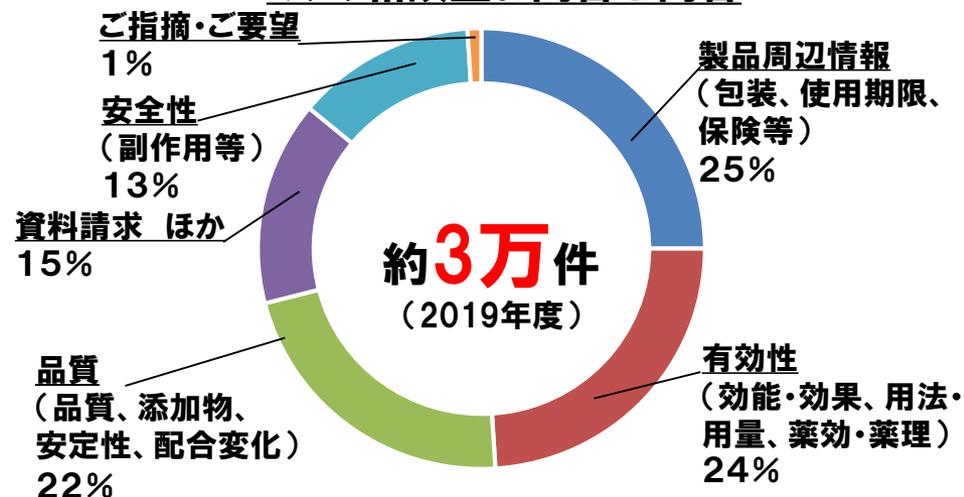
● 個包装のサイズを変更

個装袋の幅を4mm広げることによって、簡単に開封できるように改良



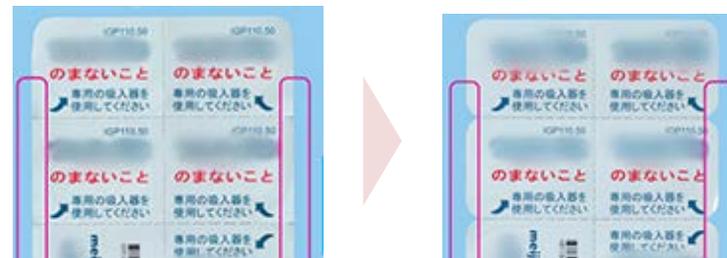
医薬品

くすり相談室お問合せ内容



● 製品のアルミシート仕様を変更

切り込みを入れて安全で開けやすくなるように改良



1. 基本情報

2. 明治グループの強み

3. 明治グループ2026ビジョン

4. 2020年度業績

5. 株主還元

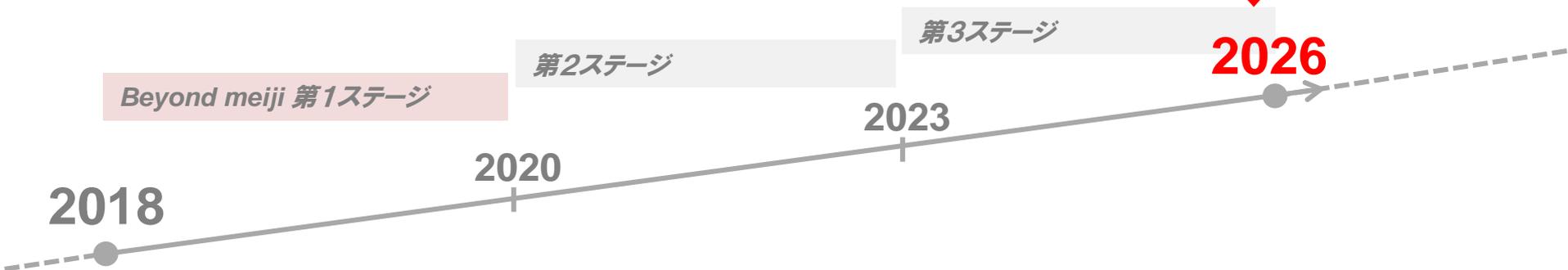
目指す企業グループ像

明治グループ100年で培った強みに、新たな技術や知見を取り入れて、「食と健康」で一步先を行く価値を創造し、日本、世界で成長し続ける



明治グループ「2026ビジョン」スローガン

- 営業利益成長率 1桁台半ば以上
(年平均)
- 海外売上高比率 20%を目指す
- ROE 10%以上を維持



方針1. コア事業での圧倒的優位性の獲得

方針2. 海外市場での成長基盤の確立

方針3. 健康価値領域での新たな挑戦

方針4. 社会課題への貢献

方針1. コア事業での圧倒的優位性の獲得

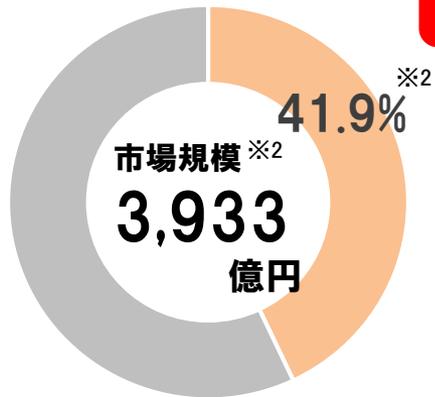
方針2. 海外市場での成長基盤の確立

方針3. 健康価値領域での新たな挑戦

方針4. 社会課題への貢献

● ヨーグルト

国内NO.1



● 栄養食品

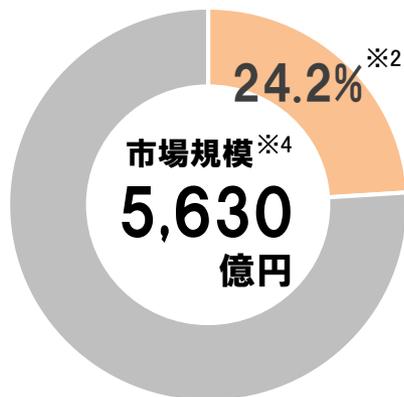
・スポーツプロテイン

国内NO.1



● チョコレート

国内NO.1



・粉ミルク

国内NO.1



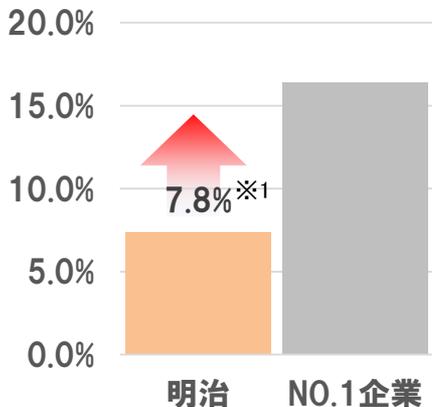
・流動食(市販除く)

国内NO.2



● ナチュラルチーズ

市場規模※1
1,362億円



国内NO.5



● 業務用食品

明治ならではの独自価値を業務用に展開

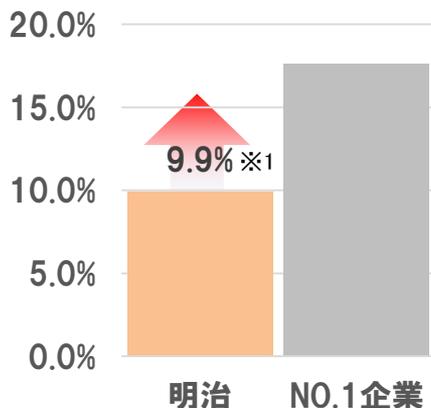
フレッシュクリーム あじわい



- 明治の特許技術「あじわいこだわり製法」により、乳本来の自然のおいしさを実現

● フローズンデザート (アイスクリーム)

市場規模 ※1
5,004億円



国内NO.5



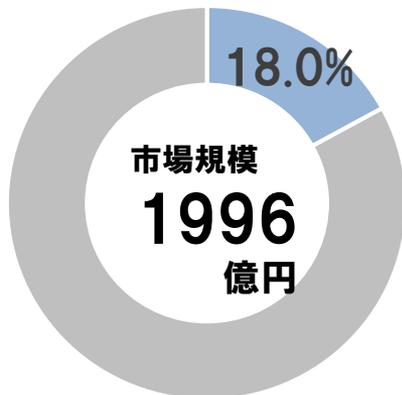
ザ・カカオ・プロフェッショナルズ



- 産地や品種の異なるカカオの個性を最大限引き出したプロのためのスペシャルティチョコレート

● 感染症領域

・全身性抗菌剤



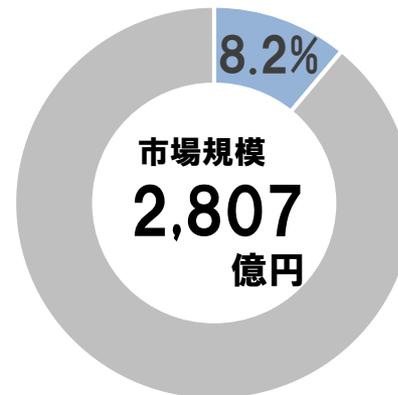
国内NO.1

出典: copyright©2020 IQVIA.
JPM 2020年3月MATをもとに作成。
市場の範囲は当社の定義による
※無断転載禁止



● 中枢神経系領域

・抗うつ薬＋非定型抗精神病薬



国内NO.4



出典: copyright©2020 IQVIA.
JPM 2020年3月MATをもとに作成。
市場の範囲は当社の定義による
※無断転載禁止

● ジェネリック医薬品

国内NO.4



出典: 2019年度
クレコリサーチ&
コンサルティング株式会社調べ

● KMバイオロジクス主要事業

国内で唯一「ヒト用ワクチン」「動物用ワクチン」「血漿分画製剤」「新生児マススクリーニング」の4事業を行う製薬会社

ヒト用ワクチン

感染症の予防と公衆衛生の向上に貢献しています



動物用ワクチン

動物の健康と安全な食品の供給に貢献しています



血漿分画製剤

先天性疾患や重篤な疾病の治療に貢献しています



新生児マススクリーニング検査

疾病の早期発見と早期の治療開始に貢献しています



● 国内トップクラスのワクチン開発・生産能力

新型インフルエンザ発生に備え

5,700万人分の
ワクチンの生産体制を整備

シングルサプライ製品数

8製品

● **新型コロナ不活化ワクチンの自社開発**

- 新型コロナウイルスに対するワクチンとして、
不活化ワクチン※の自社開発に取組中
- 今年度内に臨床試験を開始し、2023年度の
上市が目標

※不活化ワクチン・・・大量に培養したウイルスを薬剤等で処理して、
感染性や毒性をなくしてワクチンに利用したもの

● **アストラゼネカ社開発ワクチンの受託製造**

- アストラゼネカ社開発のワクチンについて、
原液の提供を受け、製剤化・保管・配送を行う予定。
- 時期、製造量は協議中。

■ 菊池研究所 製造棟



■ 合志事業所



生産設備は菊池研究所/合志事業所の新型インフルエンザワクチン生産設備を活用予定

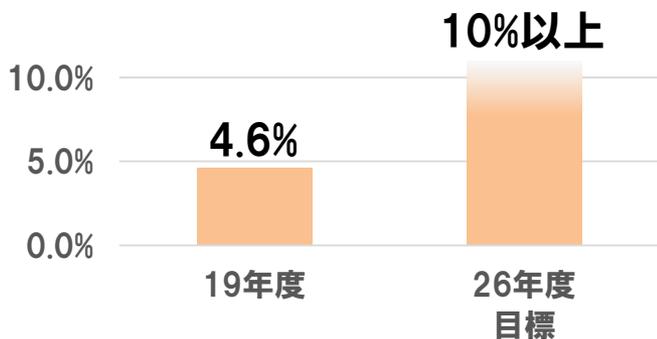
方針1. コア事業での圧倒的優位性の獲得

方針2. 海外市場での成長基盤の確立

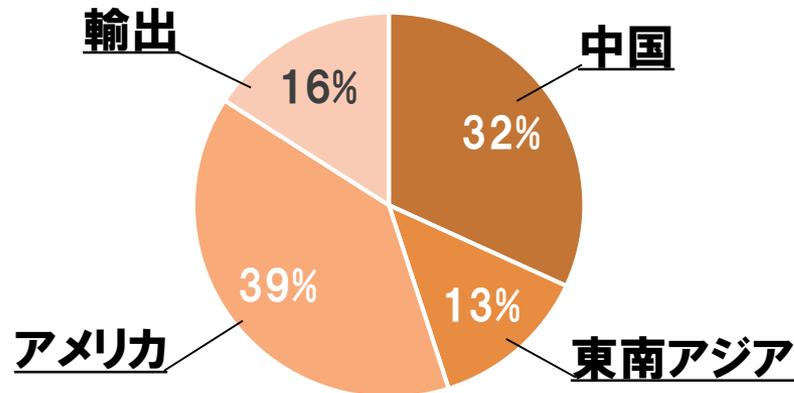
方針3. 健康価値領域での新たな挑戦

方針4. 社会課題への貢献

海外売上高比率



エリア別売上高構成比※



- 中国
 - 牛乳
 - ヨーグルト
 - 菓子
 - アイスクリーム



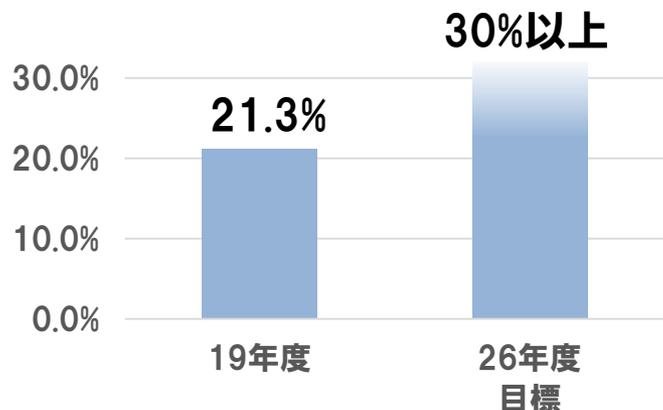
- 東南アジア
 - 菓子
 - 粉ミルク



- アメリカ
 - ビスケット
 - チョコスナック



海外売上高比率



MEDREICH
メドライク社
(1976年設立)

● 製造受託事業

- インドの子会社メドライク社で展開
- 世界へ高品質で経済的な医薬品を提供
- 大手グローバル製薬企業からの受託

● 感染症領域

- ワクチンによる「予防」と抗菌薬による「治療」でアジアの感染症リーディングカンパニーへ
- 新薬とワクチンの開発が進む

● 農薬事業

- 自然環境に配慮した製品を提供
- 世界の農畜産業の生産性向上に貢献
- 大手化学メーカーと提携



殺虫剤「リディア箱粒剤」

方針1. コア事業での圧倒的優位性の獲得

方針2. 海外市場での成長基盤の確立

方針3. 健康価値領域での新たな挑戦

方針4. 社会課題への貢献



食品

- ・栄養学の知見
- ・乳・乳酸菌・カカオの研究
- ・栄養設計技術 など

医薬品

- ・薬理学の知見
- ・合成技術
- ・微生物・バイオ技術 など

新たな
健康
価値

- ・他社や大学など社外の知見を積極的に取り入れ

オープンイノベーション

研究テーマ

老化

食事療法

マイクロバイオーーム(腸内細菌叢)

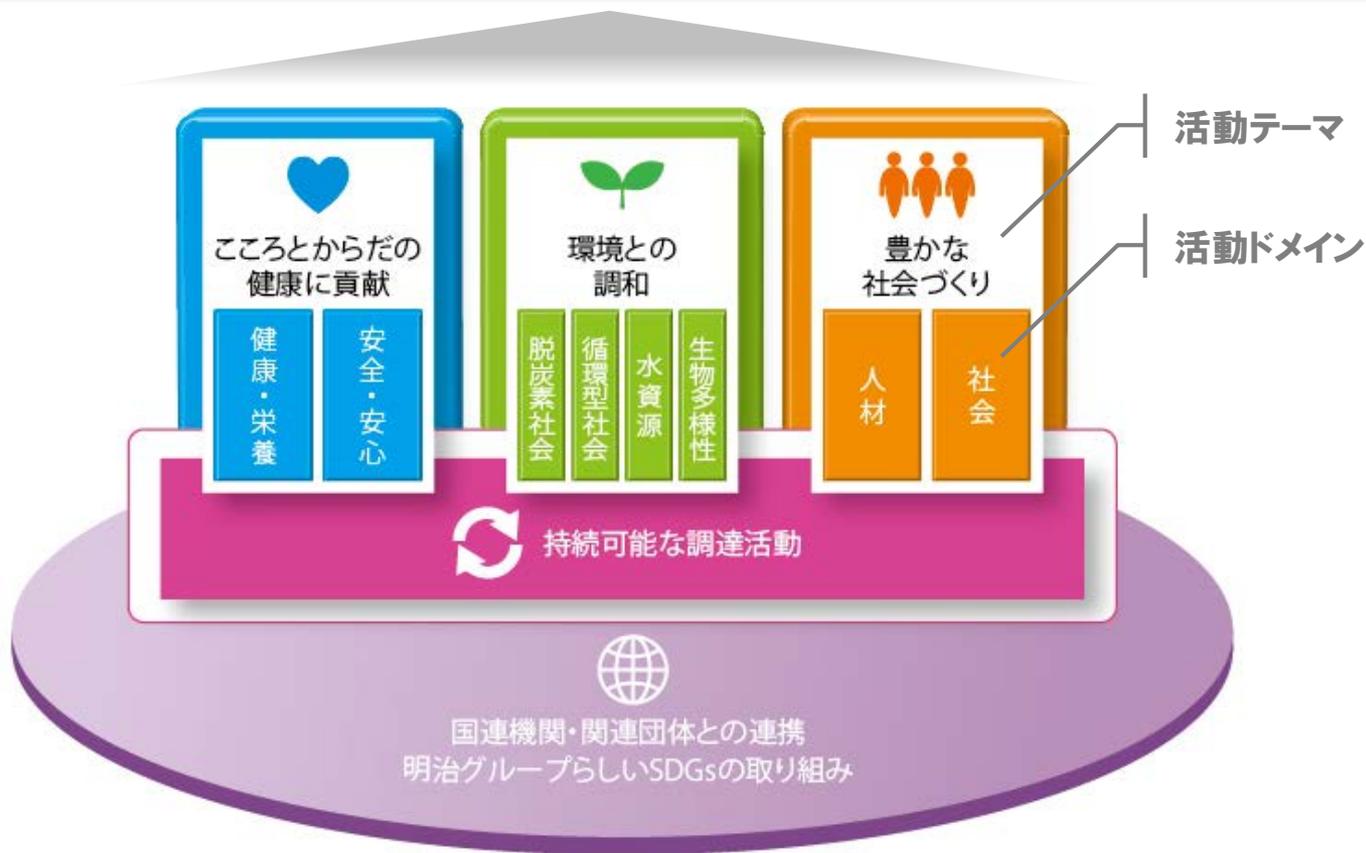
方針1. コア事業での圧倒的優位性の獲得

方針2. 海外市場での成長基盤の確立

方針3. 健康価値領域での新たな挑戦

方針4. 社会課題への貢献

明治グループは、食と健康のプロフェッショナルとして
事業を通じた社会課題の解決に貢献し、
人々が健康で安心して暮らせる「持続可能な社会の実現」を目指します



健康・栄養

貢献する
SDGs



● 健康な食生活への貢献

- 低栄養という社会課題の解決に貢献すべく、カテゴリを横断して「TANPACT」シリーズを展開
- 20年10月からは他社との協業も開始
山崎製パン:スティックパン・プリン
伊藤ハム米久ホールディングス:サラダチキン、ソーセージ

2020年春 **14**SKU → 2020年11月 **26**SKU ※



タンパクト
TANPACT

脱炭素社会

貢献する
SDGs

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



13 気候変動に
具体的な対策を



再生可能エネルギー導入への取り組み

2030年度までにグローバルでCO2総排出量を
2015年度比**40%以上削減**

- 工場において、大規模な太陽光
パネルを設置



明治
九州工場

循環型社会

貢献する
SDGs

12 つくる責任
つかう責任



プラスチック資源循環に関する取り組み

2030年度までに国内の容器包装などの
プラスチック使用量を2017年度比**25%以上
削減**

- プラスチック使用量の削減
 - ・ プラスチック製容器の軽量化・薄肉化
の促進、紙製容器への変更に取り組む



● 軽量化により、
プロビオヨーグルトの
ミニPETを
13.7g→8.7gへ

社会

貢献する
SDGs



人権の尊重

サプライヤー行動規範の策定

サプライヤーとともに**責任あるサプライチェーンを構築**するために、調達活動において**目指すべき姿**を呈示した「**明治グループサプライヤー行動規範**」を策定

サステナブル調達アンケートの実施

サプライヤーの現状把握を行うために**2020年10月より「サステナブル調達アンケート」を開始**

- ・3事業会社の本社が直接取引する一次サプライヤーに実施

● アンケート展開スケジュール

2020年9月

サプライヤーへのアンケート実施の事前連絡

10月中旬

サプライヤー説明会

10月下旬
～12月

アンケート実施

2021年1月
～3月

回答内容分析 & フィードバック

● 2021年度以降

- ・2020年度アンケート実施企業において必要な改善対応の実施
- ・国内グループ会社および海外グループ会社のサプライヤーへ対象を拡大

調達

貢献する
SDGs



人権・環境に配慮した原材料調達を推進



FSC®認証紙を使用している主な商品



責任ある森林管理
のマーク



● 生乳

国内酪農家との
パートナーシップ
強化

● カカオ豆

2026年度までに
サステナブルカカオ
調達比率**100%**

● パーム油

2023年度までに
認証パーム油への
100%代替

● 紙

2020年度までに
森林認証紙および
古紙の
使用率**100%**

1. 基本情報

2. 明治グループの強み

3. 明治グループ2026ビジョン

4. 2020年度業績

5. 株主還元

| | 事業への影響 |
|-----|--|
| 全体 | <ul style="list-style-type: none">世界規模での感染拡大所得減少や将来不安による生活防衛意識からデフレ環境へ健康・予防意識の高まり |
| 食品 | <ul style="list-style-type: none">消費者のデフレ意識の高まり生活スタイル変化により業務用の市場縮小、家庭用の市場拡大インバウンドの縮小、ECの拡大 |
| 医薬品 | <ul style="list-style-type: none">通院スタイルの見直しによる受診抑制継続 |

短期

- 幅広いポートフォリオを活用し、コロナ禍を乗り越える
- 価値訴求により自ら需要を喚起
- コストコントロールの徹底

中長期

- グループ経営視点での最適ポートフォリオの構築
- 連続的なイノベーションでお客さまの期待を超える価値を創造

| (億円) | 20年度 上期実績 | | 20年度 下期計画 | | 20年度 通期計画 | |
|--------------------------|--------------|---------------|--------------|---------------|--------------|--------------|
| | | 前年同期比 | | 前年同期比 | | 前年同期比 |
| 売上高 | 5,849 | Δ5.4% Δ331 | 6,680 | +5.3% +333 | 12,530 | +0.0% +2 |
| 営業利益 | 504 | +5.9% +28 | 595 | +8.1% +44 | 1,100 | +7.1% +72 |
| 営業利益率 | 8.6% | +0.9pt | 8.9% | +0.2pt | 8.8% | +0.6pt |
| 親会社株主に帰属 する 四半期純利益 | 287 | Δ9.8% Δ31 | 407 | +15.0% +53 | 695 | +3.2% +21 |

1. 基本情報

2. 明治グループの強み

3. 明治グループ2026ビジョン

4. 2020年度業績

5. 株主還元

2020中期経営計画の財務戦略に基づき、安定的な財務基盤を確保しながら、「将来成長」「株主還元」を両立

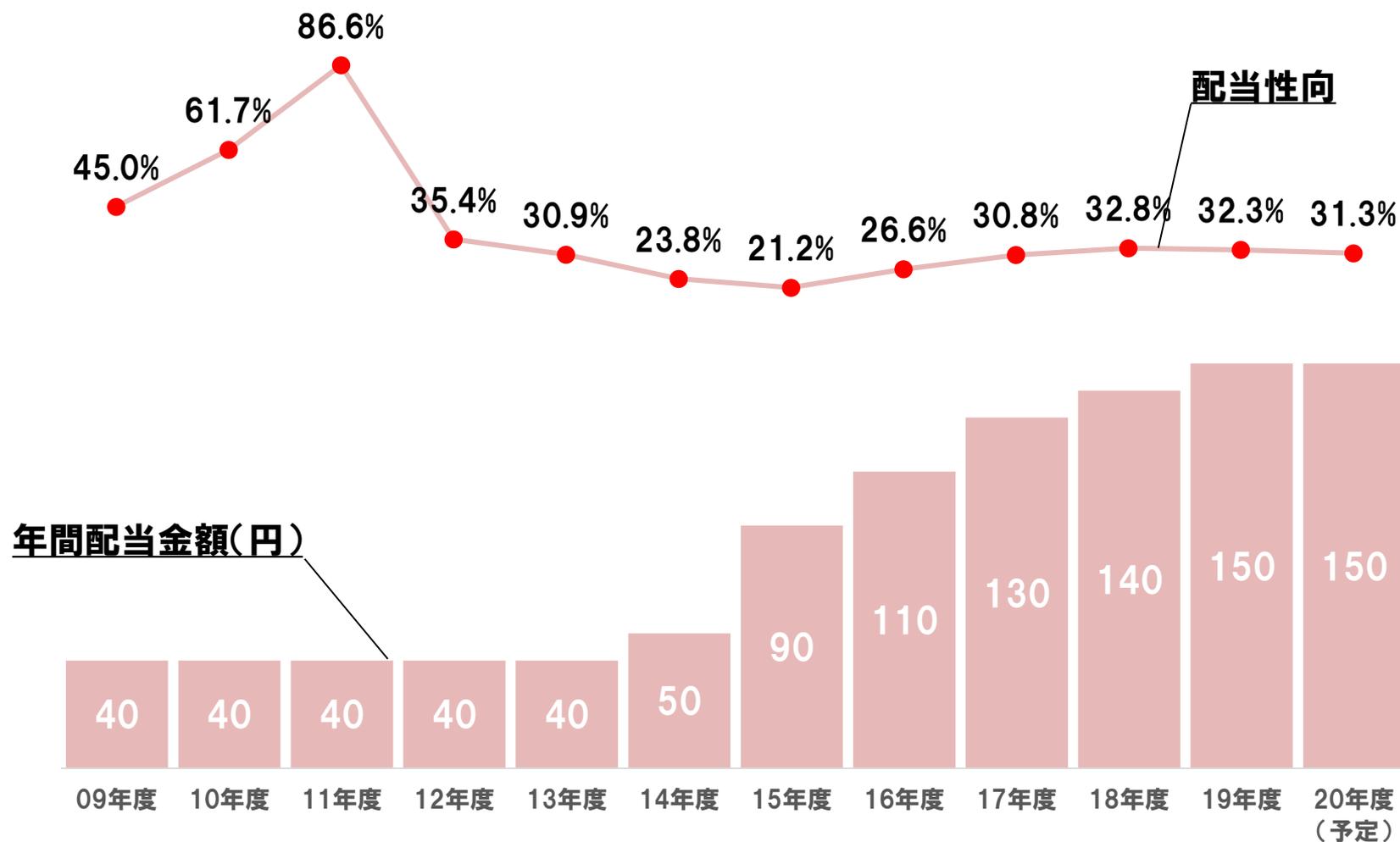
将来の成長に
向けた投資

- 2026ビジョン実現に向けて、新たな成長事業の育成や生産性向上に資する分野に積極的に投資

株主還元

- 連結配当性向30%を目安として、安定的継続的な利益還元を行います

2019年度の配当金額は過去最高の150円



※ 2015年10月1日で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しており、上記数値はこの株式分割を反映しています

100株以上の株式をご所有の株主さまを対象に、お手持ちの株数に応じたご優待品を10月末ごろにお届け(基準日3月31日)

| ご所有株式数 | 優待品 |
|----------|---------------------------|
| 100株以上 | 明治グループ製品詰め合わせ 2,000円相当 |
| 500株以上 | 明治グループ製品詰め合わせ 3,500円相当 |
| 1,000株以上 | 明治グループ製品詰め合わせ 5,000円相当 |



**2020年度の優待品
(500株以上3,500円相当)**

※ 株主さまのご意志により、同等のグループ製品を福祉団体などへご寄贈いただくことも選択できます

■お問い合わせ先**明治ホールディングス株式会社 IR広報部 IR広報G****電話：03-3273-3917****E-mail: ir-info@meiji.com**

- 本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料には、医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。